【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第２区分
【発行日】令和5年8月17日(2023.8.17)

【国際公開番号】WO2022/118616
【出願番号】特願2022-566804(P2022-566804)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｇ　4/32(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｇ　4/32　５４０
Ｈ０１Ｇ　4/32　５３０
Ｈ０１Ｇ　4/32　５７４
Ｈ０１Ｇ　4/32　５５０

【手続補正書】
【提出日】令和5年4月27日(2023.4.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
第１端面電極と、前記第１端面電極の反対側に存在する第２端面電極と、前記第１端面電極及び前記第２端面電極の間に存在する外周面と、を有するコンデンサ素子と、
前記第１端面電極の周縁部を保護する第１保護部と、前記第２端面電極の周縁部を保護する第２保護部と、前記第１保護部及び前記第２保護部とつながり、かつ前記外周面を保護する第３保護部と、を有する保護フィルムと、を備える、
コンデンサ。
【請求項２】
前記保護フィルムの一部は、前記第１端面電極及び前記第２端面電極に接着された融着部である、
請求項１に記載のコンデンサ。
【請求項３】
前記コンデンサ素子が、第１追加電極と第２追加電極と、を更に有し、
前記第１追加電極は、前記第１保護部、及び前記第１保護部で保護されていない前記第１端面電極の一部を被覆し、
前記第２追加電極は、前記第２保護部、及び前記第２保護部で保護されていない前記第２端面電極の一部を被覆する、
請求項１又は２に記載のコンデンサ。
【請求項４】
第１端面電極と、前記第１端面電極の反対側に存在する第２端面電極と、前記第１端面電極及び前記第２端面電極の間に存在する外周面と、を有するコンデンサ素子を準備する準備工程と、
前記第１端面電極と前記第２端面電極との間の距離よりも長い幅を有する保護フィルムを、前記コンデンサ素子の両端からはみ出させながら、前記外周面に巻回する巻回工程と、
前記保護フィルムにおいて前記第１端面電極側からはみ出した第１はみ出し部を、前記第１端面電極に向けて折り曲げて融着することにより、前記第１端面電極の周縁部を保護する第１保護部を形成し、かつ、前記保護フィルムにおいて前記第２端面電極側からはみ

出した第２はみ出し部を、前記第２端面電極に向けて折り曲げて融着することにより、前記第２端面電極の周縁部を保護する第２保護部を形成する融着工程と、を含む、
コンデンサの製造方法。
【請求項５】
前記第１保護部、及び前記第１保護部で保護されていない前記第１端面電極の一部に、金属材料を溶射することにより、第１追加電極を形成し、かつ、前記第２保護部、及び前記第２保護部で保護されていない前記第２端面電極の一部に、金属材料を溶射することにより、第２追加電極を形成する追加電極形成工程を更に含む、
請求項４に記載のコンデンサの製造方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００８４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００８４】
第２の態様は、第１の態様に基づくコンデンサ（１）である。第２の態様では、前記保護フィルム（５）の一部は、融着部（５０）である。前記融着部（５０）は、前記第１端面電極（４１）及び前記第２端面電極（４２）に接着されている。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００８６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００８６】
第３の態様は、第１又は第２の態様に基づくコンデンサ（１）である。第３の態様では、前記コンデンサ素子（２）が、第１追加電極（６１）と、第２追加電極（６２）と、を更に有する。前記第１追加電極（６１）は、前記第１保護部（５１）、及び前記第１保護部（５１）で保護されていない前記第１端面電極（４１）の一部を被覆する。前記第２追加電極（６２）は、前記第２保護部（５２）、及び前記第２保護部（５２）で保護されていない前記第２端面電極（４２）の一部を被覆する。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００９０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００９０】
第５の態様は、第４の態様に基づくコンデンサ（１）の製造方法である。第５の態様では、追加電極形成工程を更に含む。追加電極形成工程では、前記第１保護部（５１）、及び前記第１保護部（５１）で保護されていない前記第１端面電極（４１）の一部に、金属材料を溶射することにより、第１追加電極（６１）を形成し、かつ、前記第２保護部（５２）、及び前記第２保護部（５２）で保護されていない前記第２端面電極（４２）の一部に、金属材料を溶射することにより、第２追加電極（６２）を形成する。